



あわくら会館  
AWAKURA-KAIKAN

# あわくら会館・あわくら図書館 — 村民ジェネレーターによる運営 —

令和6年7月4日（木）

## 1. 西粟倉村のについて

人口 1,341人（6月1日現在）

面積 57.97km<sup>2</sup>  
うち93%が山林  
そのうち84%が人工林



- 2004年 市町村合併をしないことを選択
- 2007年 地域外から人材獲得の取組
- 2008年 百年の森林構想に着想（フラッグシップ戦略）
- 2013年 環境モデル都市に選定
- 2014年 バイオマス産業都市に選定
- 2015年 ローカルベンチャースクール開始
- 2019年 SDGs未来都市に認定
- 2022年 脱炭素先行地域に選定



# 1. 西栗倉村について

## 西栗倉村百年の森林構想

- ・ 林業の集約化
- ・ 林業の6次産業化

### 西栗倉の 森林の 100年

現在の西栗倉村の森林

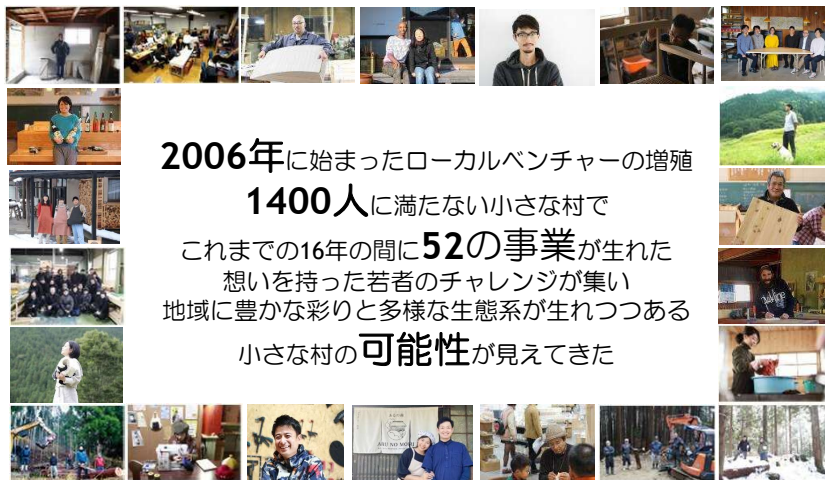
50年後の森林。

私たちが目指すのは、  
これから50年後の森林。



# 1. 西栗倉村について

## ローカルベンチャー支援事業



2006年に始まったローカルベンチャーの増殖  
1400人に満たない小さな村で

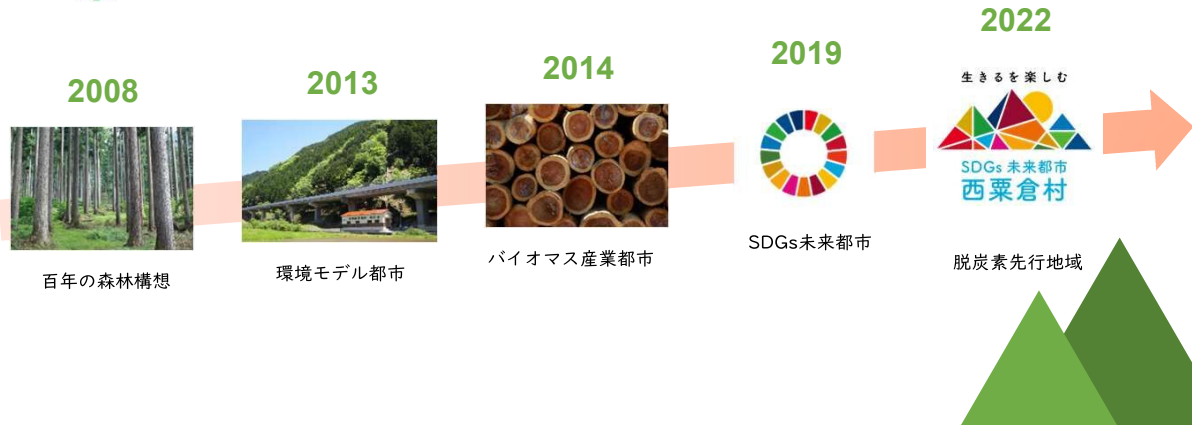
これまでの16年の間に**52の事業**が生れた  
想いを持った若者のチャレンジが集い  
地域に豊かな彩りと多様な生態系が生れつつある

小さな村の**可能性**が見えてきた

©2023 Vill.Nishikikura Office

## 1. 西栗倉村について

「生きるを楽しむ」持続可能な村づくりへ



## 1. 西栗倉村について

西栗倉村へのIターンした人たちの状況

228人/342人 66.7%

	Iターンした人	現在住んでいる人
平成20年度	24人	8人
21年度	15人	22人
22年度	10人	6人
23年度	12人	5人
24年度	12人	8人
25年度	14人	5人
26年度	17人	4人
27年度	10人	7人
28年度	26人	9人
29年度	30人	15人
30年度	42人	33人
31年度	40人	29人

	Iターンした人	現在住んでいる人
令和2年度	41人	32人
3年度	26人	22人
4年度	23人	23人
合計	342人	228人



## 1. 西栗倉村の現状

### 地域と自らの未来へチャレンジする若者が集まる村

#### 1. ローカルベンチャーの増殖を推進

- ・2007年より地域外から人材を獲得する取組を始め、百年の森林構想における林業の6次化等から、ローカルベンチャーの増殖を推進してきた。
- ・これまでに50以上の事業が生まれ、特に20代～40代の若者が集まる村となっている。

#### 2. 地域おこし協力隊 (52名 7/1時点)

- ・様々な経験やスキルを活かしたチャレンジを行っている。

#### 3. 移住者の定住促進に向けたコミュニティのプラットフォームの重要性

- ・移住者が地域のコミュニティに参加するため、地域に認められ、自らを肯定できる居場所の機能が求められている。



## 2. あわくら会館・あわくら図書館

### 村民が“生きるを楽しむ”ための拠点施設



#### 1. あわくら会館とは

「大人も子どもも、若者も高齢者も、みんなで生きることを楽しもう。」をビジョンとして掲げた西栗倉村で、村民みんなが輝くための施設。村民に開かれ愛される村民の活動拠点。

- ① 開館 令和2年4月5日（生涯学習エリア）  
// 3年6月7日（役場エリア）グランドオープン

- ② 建設コンセプト『つどい・まなびの拠点施設』  
村の“百年の森林構想”により大切に受け継がれた木材を活用した建物は、生涯学習エリア・役場機能を有する複合施設。  
村民一人一人が生きることを楽しみ、学びやつながりを通じ、人や地域が育つための拠点になりたいと思いを込めた施設。  
※公民館に準ずる施設

- ③ 木造建築だけでなく活用が評価  
・令和3年度 木材利用優良施設コンクール 内閣総理大臣賞  
・ウッドデザイン賞2021



## 2. あわくら会館・あわくら図書館

### 村民が“生きるを楽しむ”ための拠点施設

#### 3. 生涯学習エリアの運営

- ① オープン：令和2年4月5日（旧あわくら子ども図書館 1993年10月1日）  
 ② 図書館延べ床面積：360.07㎡（一般書フロア：137.73㎡ 児童書フロア：222.34㎡）



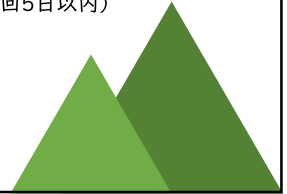
③ 蔵書数：

R6.5.30 現在	一般図書	児童図書	雑誌	AV資料	マンガ	合計
蔵書数	15,433	15,903	2,176	143	714	34,369
蔵書能力	22,050	24,105				46,155

- ④ 開館時間：10：00～18：00 ※貸館は22:00まで（役場宿直が対応）  
 ⑤ 休館日：国民の祝日、毎月最終月曜日、年末年始（12月28日～1月3日）、特別整理日（年1回5日以内）

⑥ 資料貸出：

資料区分	一般図書	雑誌
書籍、絵本、紙芝居	10点まで	2週間以内
雑誌（最新号以外）		
CD、DVDなどの視聴覚資料	3点まで	1週間以内



## 2. あわくら会館・あわくら図書館

### 村民が“生きるを楽しむ”ための拠点施設

#### 4. 生涯学習エリアの体制

- ① 司書は、生涯学習の企画及び運営、村民企画の伴走も業務としている。  
 ② 令和5年6月から地域おこし協力隊を「生涯学習クリエイター」として採用。



役職	人数	資格	備考
館長			教育長（兼）
副館長			教育委員会事務局 担当者（兼）
司書（会計年度）	2名	司書資格	幼・小・中 学校司書（兼）
司書補助 //	1名	資格なし	
非常勤 //	2名	司書資格	
非常勤 //	1名	資格なし	
地域おこし協力隊	1名		生涯学習クリエイター

生涯学習エリアのスタッフは、図書館（学校司書含む）との兼務で常勤が4名のみ。



### 3. 役割

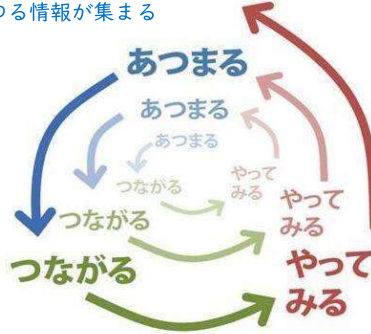
#### 施設ビジョン（未来像）

「あつまる、つながる、やってみる、」

【描きたい未来】

- ① 村での生活に関する情報がここに来ればある。
- ② ずっと住んでいる人、移住者の垣根がなくなる。
- ③ 主体的に「生きるを楽しむ」人で溢れている。

人や知識、思い、活動、あらゆる情報が集まる



やってみたいことができる、一緒に活動する、イベントに参加、学びを深める

世代、地域、ずっと村にすんでいる人、移住者など関係性を超えてつながる

### 3. 役割

#### 施設スローガン（価値観）

「一緒に面白いジェネレーター」

「あつまる、つながる、やってみる、」を促進するために、スタッフが何を大事にしたら良いかを言語化

**02 ジェネレーターとは？**

	Instructor インストラクター	Facilitator ファシリテーター	Generator ジェネレーター	Manager マネージャー	Coach コーチ
生徒との関わり	知識を持つ権威	生徒と生徒をつなぐハブ	参加者のひとりになる	進捗を管理する上司	その道を知る水先案内人
ふるまいや行動	知識を伝達し理解度を確認	話し合いの交通整理	一緒になって面白い	現状の評価とアドバイス	フィードバックとほげまし
目標ゴール	知識が生徒に定着する	全員が話し合いに参加する	短期的にはないが創造の連鎖が自ずから起こる	プロジェクトの完了・完遂	生徒が自ら技能に習熟する

「あつまる、つながる、やってみる」を促進するために、村民のやってみんを一緒に面白がり、創造の連鎖が起こるように関わり方。元々は、教育現場での教師の関わり方として提唱された概念。

## 3. 役割

### 役割の言語化

「住民の実現したいを施設設計・運営に」

- ・ 村民ワークショップ (H29前半) : 4回
- ・ 生涯学習施設活用検討委員会 (H29後半) : 6回



「村民があわくら会館・図書館に求める役割を言語化」

生きるを楽しむための活動を主体的に行うため、

- ・ 自由な使い方を創り出せる施設 . . . . . 「空間的なサポート」
- ・ 知りたい情報を知ることができる拠点施設 . . . . . 「情報の拠点 (情報のハブ役)」

【重点的な役割】

- ・ つながりから活動の可能性を広げる施設 . . . . . 「人材の拠点 (人材のハブ役)」
- ・ より多様な活動から学びの可能性を広げる施設 . . . . . 「多様な機会の提供」

→ あわくら会館は、村民一人一人が生きることを楽しみ、  
学びやつながりを通じ、人や地域が育つための拠点であることが求められている。



## 3. 役割

### 自由な使い方を創り出せる施設「空間的なサポート」

- ・ 様々な形の会議や活動や集会在可能な空間を提供。(活動室・ホール)
- ・ 村民、村内事業者であれば貸館は無料。※営利目的の利用は有料。
- ・ 全館フリーWi-Fi。
- ・ 予約がない部屋はいつでも利用可能。
- ・ 使い方を利用者が考え、利用できるようルールは設けないようにしている。
- ・ 利用方法の問い合わせに対して、可能となる方法をスタッフが一緒に検討していく。



井戸端会議



サークル活動や打合せ・会議



イベント開催



展示会



ボードゲーム会

### 3. 役割

自由な使い方を創り出せる施設「空間的サポート」



映画・音楽鑑賞会



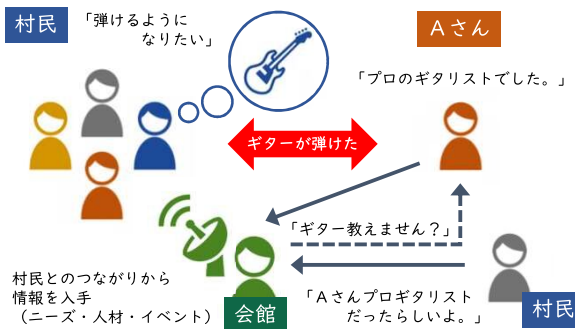
グループ利用

### 3. 役割

知りたい情報を知ることができる「情報の拠点（情報のハブ役）」

- ・図書はもちろん、人が持つ情報を集めることも図書館が担う機能。
- ・村民が趣味や活動を広げるための情報が集まるハブの機能を持つ拠点。

【情報拠点のイメージ】



人口8千人未満の町村との比較（全国162町村）

指標 順位	貸出密度		蔵書冊数（冊）			
			奉仕人口1人あたり			
1	日吉津村	鳥取県	23.4	矢祭町	福島県	85.6
2	舟橋村	富山県	22.1	置戸町	北海道	43.9
3	置戸町	北海道	14.5	南相木村	長野県	42.2
4	多賀町	滋賀県	13.5	西栗倉村	岡山県	30.4
5	下條町	長野県	12.7	鶴居村	北海道	29.6
9	西栗倉村	岡山県	11.0			
	平均		4.8			12.8

（公社）日本図書館協会「日本の図書館2022」より



### 3. 役割

知りたい情報を知ることができる「情報の拠点（情報のハブ役）」



全館ワークスペース

貸館にて予約がない場合、自由に部屋を利用可能にすることで、ワークスペースとしての利用ができる。



利用者が集まると情報が集まる。



仕事やプライベート 様々な化学反応が生まれる場所に。

### 4. 課題

#### 村民が生きるを楽しむための課題

##### 【課題①】村民のつながり

- ・若者の移住者が増えたが、地元出身者と移住者がつながることができる場が少なく、それぞれのコミュニティーが形成されていることが課題。
- ・お互いがつながる場を増やすことでそれぞれのチャレンジへの協力や後押しが広がることが、まちづくりには不可欠。

##### 【課題②】多様な生涯学習活動

- ・人口の少ない村では、村民が好きなことや趣味を見つけ、広げ、深めるための多様な機会をつくることが課題。  
（例えば 中学校の部活：バレーボール、卓球、陸上 習い事：習字、ピアノ 他少々）
- ・スタッフが時間をかけ企画、準備を行っても多様な価値観を持つ村民の多くにヒットするとは限らない。

##### 【課題③】スタッフは忙しい

- ・生涯学習エリアのスタッフは図書館（学校司書含む）との兼務で常勤が4名のみ。
- ・講座やイベント等の企画運営や図書整理など忙しく、村民のニーズの把握やマッチ率が高い講座やイベントを企画する余裕がつかれない。

## 4. 課題

### 村民が生きるを楽しむための解決に向けて

#### 【課題①】村民のつながり

→ つながりから活動の可能性を広げる施設「**人材の拠点（人材のハブ役）**」を重点に

→ 人と人、人とモノ、人と情報をつなげる仕組みをつくることで、「**あつまる、つながる、やってみる、**」のサイクルが回り始めるきっかけづくりを目指した。

「**やってみん掲示板**」の取組

#### 【課題②】多様な生涯学習活動

→ イベント、ワークショップなどより多様な活動から学びの可能性を広げる施設「**多様な機会の提供**」を重点に

→ 小規模ではあるがニッチなイベントをより多く実施することが、参加者の満足度が高くなり、あわくら会館だからできる質の高い多様な機会を目指した。

「**村民講師**」の取組

#### 【課題③】スタッフは忙しい

→ **ハブ的サポート**や**機会提供**を目的に**村民が主体**となって企画実施できる取組を構想。持続可能な仕組み化を目指した。村民、講師、スタッフ、誰もが「（一緒に面白がる）**ジェネレーター**」になることを推進することとした。

## 5. 重点的な役割

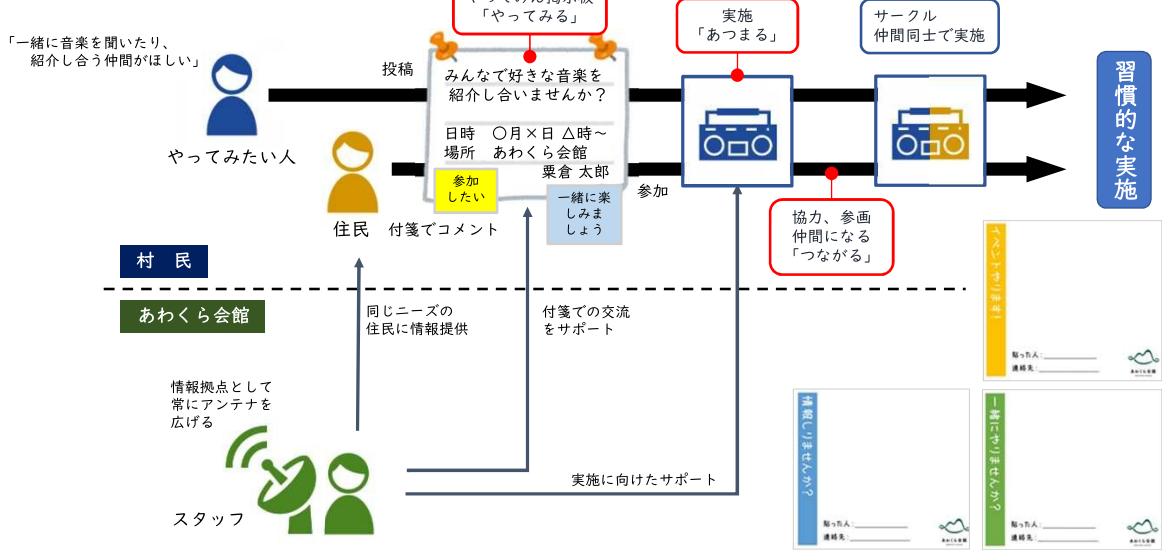
「**やってみん掲示板**」 令和3年度岡山県公民館連合会 公民館職員が選ぶ講座アワード「3位」受賞

- ・ 村民や村内就労者の誰もが自由に利用でき、「イベントやります」「一緒にやりませんか?」「情報知りませんか?」をテーマに投稿できる。
- ・ 投稿を見た人は、付箋でコメント。掲示板内で交流しながら、イベントや活動が実現していく。(アナログ版Twitter)
- ・ 深いつながりがない村民同士が共通の趣味や興味でつながり、生きるを楽しむ活動の可能性を広げることが目的。



## 5. 重点的な役割

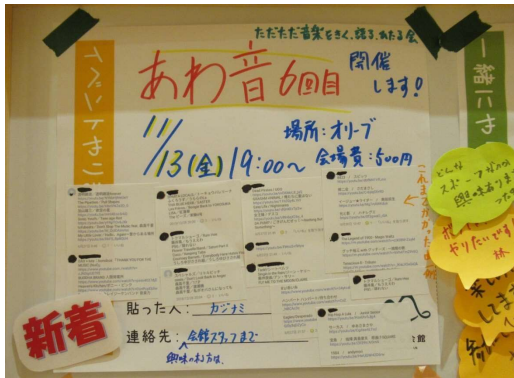
### 「やってみん掲示板」



## 5. 重点的な役割

### 「やってみん掲示板」あわ音

好きな音楽を紹介しながら、一緒に音楽を楽しむ「あわ音」。  
 数人のコアメンバーによって気分で開催。「紹介された曲が最近お気に入りです」など好きが広がっていく場にも。  
 開催の度、村に移住したばかりの村民の参加が増え、音楽を通じた新たなつながりの場になっている。



## 5. 重点的な役割

「村民講師」 令和2年度岡山県公民館連合会 公民館職員が選ぶ講座アワード「グランプリ」受賞

- ・村内の地域おこし協力隊等移住者を始めとした村民の仕事・特技・好きなことや趣味を生かした講座。
- ・講師費用は基本支払っていない。
- ・定員は数名から10名までの少人数講座。
- ・村民の多様な体験機会が増え、好きなことや趣味を見つけたり、広げたりすることができる。
- ・村民講師は自分を知ってもらうことで、地域の協力や後押しなど取組の広がりができる。自らの事業の試す場になる。
- ・村民と移住者がWin-Winでフラットな関係でつながる場としている。



やまと森の知らない世界（森を学ぶ）



ミニ動物園

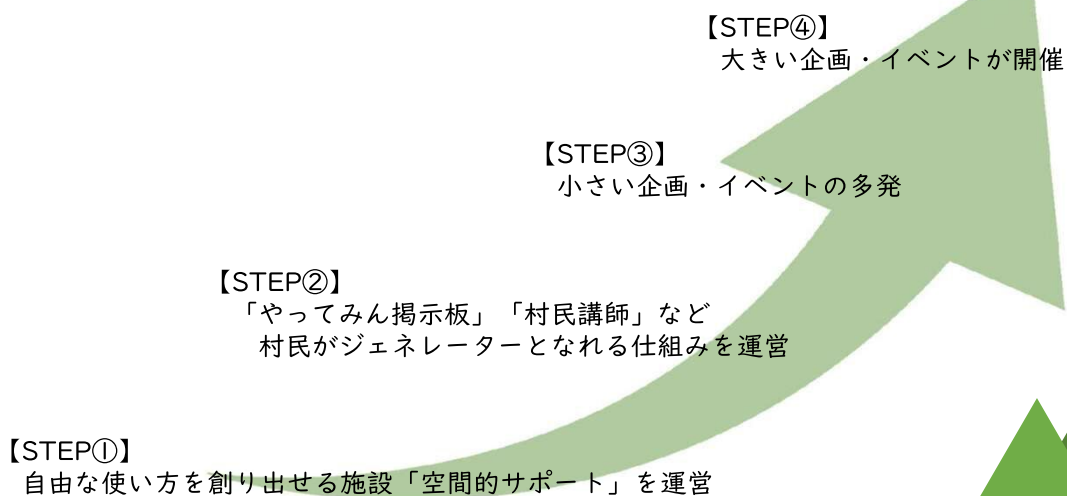


鹿革のレザークラフト

講師が肩の力を抜けるよう、緩い企画となるようにスタッフは講師とイメージを共有し、企画化の伴走をしている。

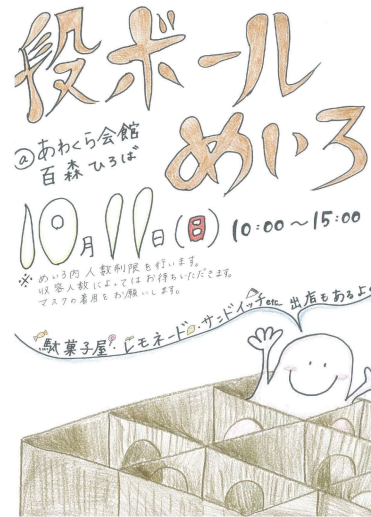
## 6. 村民ジェネレーター

### 村民ジェネレーターの多発と多様化



## 6. 村民ジェネレーター

### 村民ジェネレーターによるイベント



ミュージカル



マルシェイベント

## 7. あわくら会館・図書館の統計

### 利用状況

	貸出者数	貸出冊数	貸出密度	来館者数	備考
令和5年度	4,046人	16,165冊	12.1冊	21,388人	
令和4年度	3,935人	15,987冊	11.8冊	21,211人	
令和3年度	4,561人	17,056冊	12.3冊	22,846人	
令和2年度	4,523人	16,879冊	11.9冊	22,539人	コロナウイルス感染症対策 4/20~5/31日利用制限(貸出・返却のみ)
令和元年度	1,676人	6,496冊	4.3冊	-	旧あわくら会館・あわくら子ども図書館

### 資料費

	資料費	人口 4月1日時点	人口1人あたりの 資料費
令和6年度	2,547千円	1,333人	1,910円
令和5年度	3,047千円	1,355人	2,249円
令和4年度	3,099千円	1,384人	2,239円
令和3年度	3,035千円	1,419人	2,139円
令和2年度	3,094千円	1,444人	2,143円

### R5事業実績

	開催数	参加数	内容
主催(生涯学習)	14回	339人	定例企画、各種講座、映画上映、音楽イベント
主催(図書館)	21回	469人	音読教室、読み聞かせ、講座
村民講師企画	36回	439人	やま森、ミニ動物園、俳句教室、合気道教室
村民主催イベント	3回	395人	マルシェ、親子ミュージカル
合計	92回	1,642人	